



松原のりかず
☎058-253-2500

「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の 社会実現」の請願と意見書が否決に 市民の願い国へ届けない岐阜市議会に残念

意見書の内容は「さよなら原発」1千万人署名（呼掛け人・大江健三郎、坂本龍一、瀬戸内寂聴などの各氏）と同じです。

提案されましたが、賛成少数で否決に。残念ながら「意見書に反対意思表示」と「賛成しないで、本会議場を退席した」議員がみえました。

「脱原発」を主張の議員と、「意見書に賛成しなかった」議員は下記のとおり。

意見書に賛成し、「脱原発」を主張した議員 7人

松原のりかず 服部勝弘 田中成佳 高橋和江
堀田信夫 井深正美 原菜穂子

「脱原発」の意見書に反対した議員 29人

郷 英明 渡辺貴郎 長屋千歳 黒田育宏 石川宗一郎
若山貴嗣 石井浩二 小堀将大 鷺見守昭 和田直也 谷藤錦司
大野一生 須賀敦士 杉山利夫 西垣信康 江崎洋子 松原和生
浅野裕司 丸山慎一 信田朝次 須田 眞 國井忠男 高橋 正
辻 孝子 山口力也 柳原 覚 西川 弘 渡辺 要 松岡文夫

「脱原発」の意見書に賛成しないで、議場を退席し、態度不明の議員 1人

富田耕二

※ 竹市 勲 は、議長で表決に加わらない。

(敬称略)

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会実現を求める意見書（案）

東京電力福島第一原子力発電所での炉心溶融及び連続爆発により、海、大気、大地が汚染された。

今の子どもたちだけではなく、まだ生まれていない子どもたちにもはかり知れない悪影響を与えるとの不安に駆られており、未来の命のために、自然を傷つけ、エネルギーを浪費する生活を見直し、あらゆる生物と共存する持続可能で平和な社会の実現が求められている。

よって、国におかれては、原発廃止に向けて政治のかじを切り、核エネルギー政策からの大転換を図るため、下記事項について実施するよう強く要望する。

記

- 1 原子力発電所の新規建設計画を中止し、中部電力浜岡原子力発電所を初めとした既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施すること。
- 2 最も危険なプルトニウムを利用する高速増殖炉「もんじゅ」及び核燃料再処理工場を運転せず、廃止すること。
- 3 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えたエネルギー政策への転換を早急に始めること。

以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

岐阜市議会

国会及び関係行政庁宛